

# 漁海況情報

第584号 (令和3年2月16日)

発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

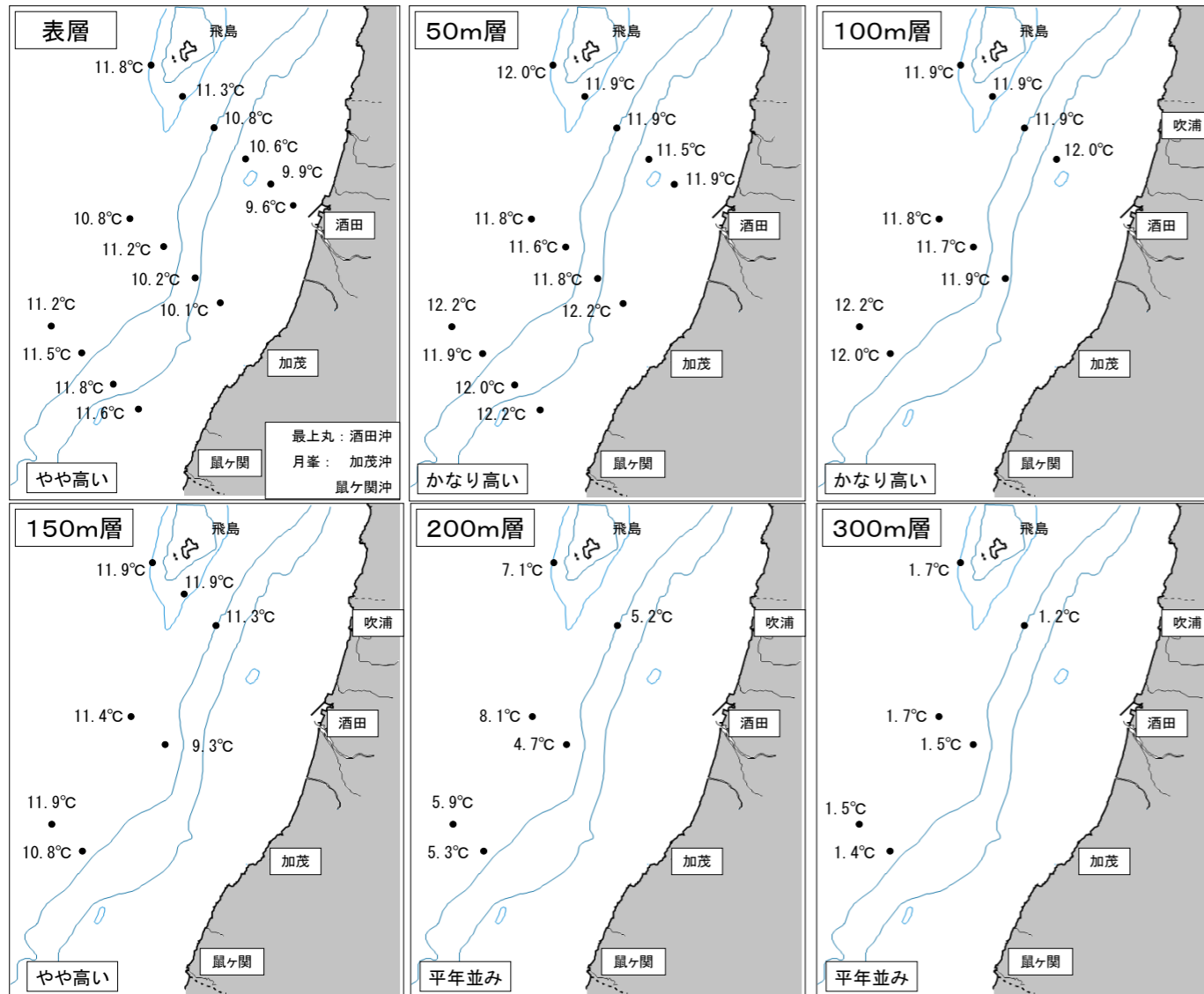
- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産研究所「最上丸」は、1月25日および27日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層および150m層は「やや高い」、50m層および100m層は「かなり高い」、200m層および300m層は「平年並み」でした。
- ・1月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産研究所)は「やや高い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)は「平年並み」でした。
- ・2021年の寒ダラ漁は、1月はほぼ平年並みの83.1トンでしたが、2月に入ってから時化が多く1日しか出漁出来なかったため、2月上旬までの漁獲量は98トン(過去20年平均比59%)となっています。
- ・2月のたら場水温観測の結果は、全体的に高い傾向にありました。

各層別の平均水温(2月上旬分観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	11.0	11.9	11.9	11.2	6.0	1.5
前年差	-0.1	-0.2	-0.3	-0.2	+1.1	+0.0
平年差	+0.8	+0.9	+1.0	+1.0	-0.5	-0.2
評価	やや高い	かなり高い	かなり高い	やや高い	平年並み	平年並み

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

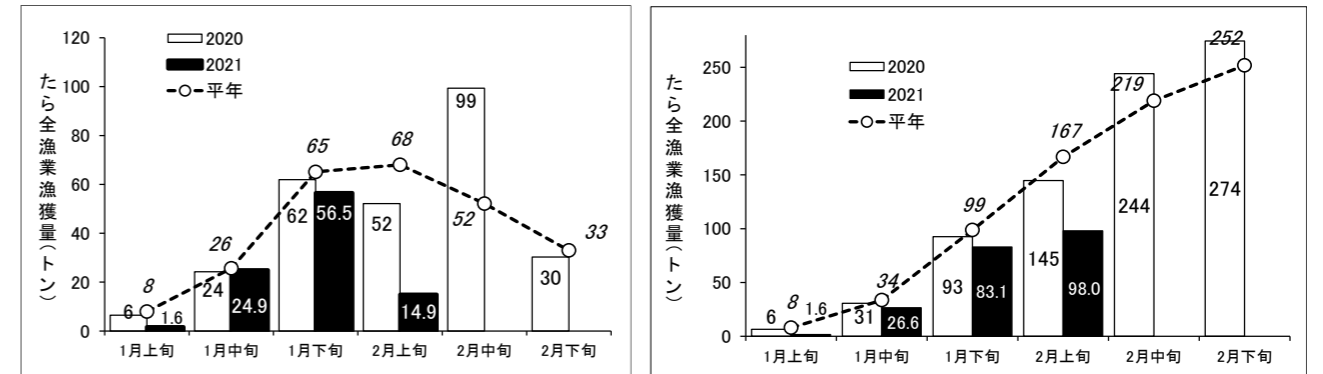


1月地先平均水温

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	9.3	-0.9	+0.8	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	10.9	-1.3	+0.3	平年並み

## 2021年寒ダラ漁獲状況(2月上旬まで)



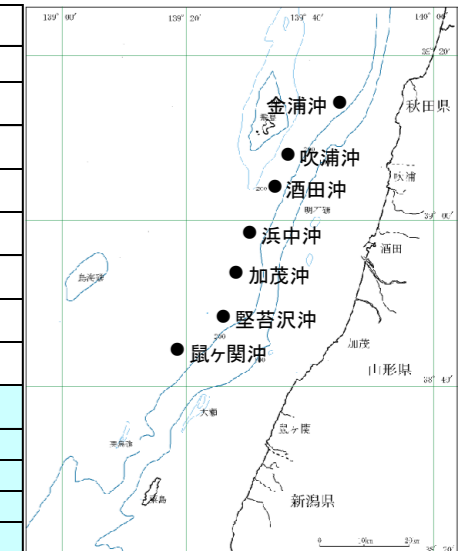
寒ダラ漁獲量(左:旬別計、右:旬累計)

●2021年の寒ダラ漁獲量は、2月上旬までで98トン(過去20年平均比59%)でした。

## 2月上旬(2021年2月1日)のたら場水温

たら場水温観測結果(2021年2月1日 最上丸 観測) ※平年=2011~2020年の1月下旬~2月上旬たら場観測結果の平均

漁場	ロラン 3局	水深 ヒコ	水温(平年差)(℃)		
			200m	250m	300m
鼠ヶ関沖	3064	237	9.6(+2.9)	3.7(+0.5)	2.0(+0.2)
堅苔沢沖	2978	214	10.0(+3.0)	4.5(+1.5)	2.4(+1.0)
加茂沖	2893	292	8.3(+1.3)	3.9(+0.8)	2.3(+0.6)
浜中沖	2818	266	6.7(+0.1)	3.2(+0.1)	1.7(-0.1)
酒田沖	2769	216	7.8(+1.0)	3.6(+0.7)	2.2(+0.5)
吹浦沖	2682	214	7.5(+0.6)	2.9(-0.1)	1.7(+0.0)
金浦沖	2625	213	9.4(+4.0)	3.1(+0.9)	1.6(+0.2)
平均			8.5	3.6	2.0
前年(2020年)との差			+3.6	+1.3	+0.5
前回(2020年1月21日)との差			-0.4	+0.2	+0.2
平年(2011~2020年)との差			+1.6	+0.5	+0.3
評価			やや高い	やや高い	やや高い



評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

2021年2月1日の山形県たら場の水温の状況は以下のとおりです。  
 200m層~300m層はいずれも「やや高い」でした。  
 0m層~150m層の比較的表層の水温は平年並みかやや高くなっています。

# 1月の漁況

- ・延べ操業隻数は663隻で前年比88%、総漁獲量は280トンで前年比77%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は155トンで前年比112%と、前年並みでした。ハタハタ、ホッケ、マダラおよびタコ類は前年を上回り、タイ類、ヒラメ、カレイ類、サメ類、ズワイガニおよび紅エビは前年を下回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は1.6トンで前年比35%と、前年を下回りました。タイ類およびタコ類は前年を下回りました。
- ・その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカは前年を上回り、かご漁業のタコ類、採貝藻漁業のアワビ、ナマコおよびノリは前年を下回りました。船凍いか釣漁業のスルメイカは先月に引き続き、前年を大きく下回りました。

\* 前年比は平成28～令和2年までの平均値と比較した値です。  
 \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。  
 \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	28	110	158	24	106	41	16	180	663	62%	88%
総漁獲量	8,189	6,696	126,821	18,937	35,750	11,896	383	71,674	280,346	68%	77%
前年比	42%	65%	61%	70%	82%	70%	82%	83%	68%		
前年比	54%	94%	56%	129%	125%	122%	67%	121%	77%		

## 底びき網漁業

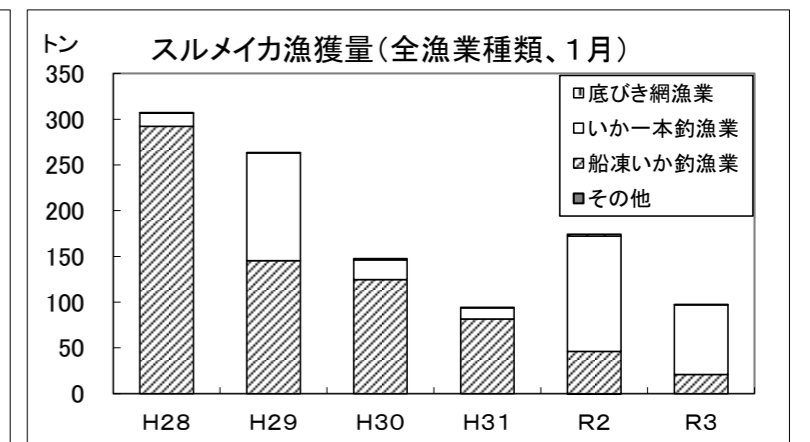
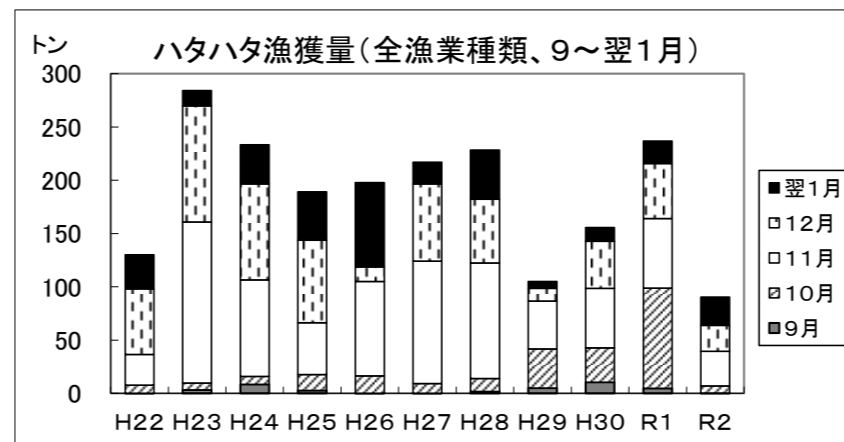
支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	16	32	47	19	95	209	70%	88%
タイ類	31	1,789	531	105	7,616	10,073	50%	71%
ヒラメ	25	44	47	48	344	507	52%	69%
カレイ類	252	309	1,484	348	1,686	4,080	49%	68%
ハタハタ	110	161	5,846	4,761	15,615	26,493	126%	124%
ホッケ	20	3,551	28		110	3,709	57%	228%
アンコウ	31	169	516	200	1,227	2,143	74%	110%
マダラ	5,354	28,989	15,907	4,659	30,370	85,278	91%	137%
サメ類	9	291	19		245	563	68%	19%
ヤリイカ	15	157	117	62	2,707	3,057	55%	93%
ズワイガニ	150	48	1,026	65	239	1,529	178%	70%
紅エビ (ホッコクアカエビ)	161	83	535	163	6,035	6,977	32%	63%
タコ類	68	190	330	147	765	1,499	86%	164%
その他	855	2,241	1,745	1,021	3,168	9,030		
計	7,079	38,022	28,132	11,579	70,126	154,938	78%	112%
前年比	40%	85%	75%	72%	85%	78%		
前年比	52%	112%	117%	125%	122%	112%		

## はえなわ漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	4	1	8	4	2	18	37	28%	52%
タイ類			22		74	182	278	19%	30%
フグ類	145	17	336	37		211	747	80%	88%
ノドグロ (アカムツ)		0.2	36			208	244	23%	97%
タコ類			47	35			81	24%	27%
その他		1	114	17	8	88	227		
計	145	18	555	89	81	689	1,577	33%	35%
前年比	225%	4%	45%	13%	27%	33%	33%		
前年比	100%	1%	84%	24%	18%	54%	35%		

## その他の漁業

漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	かご漁業	採貝藻漁業			
延べ操業隻数	141	1	37	145			
総漁獲量			1,507	2,096			
前年比			65%	65%			
前年比			69%	74%			
主な対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	タコ類	アワビ	サザエ	ナマコ	ノリ
漁獲量	76,281	20,808	1,490	334	1,255	421	84
前年比	60%	45%	64%	78%	77%	41%	51%
前年比	130%	15%	68%	60%	105%	50%	38%



### 最上丸の調査予定(2月中旬～3月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・底びき網調査(紅エビ)を行います。
- ・サケの稚魚調査を行います。

みなさま、調査への御協力。御理解よろしくお願ひします。

